

平成 19 年 11 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ネクストジェン
 代表者名 代表取締役社長 大西新二
 (コード 3842 大証ヘラクレス)
 問合せ先 取締役管理部門長 柏木宏之
 (TEL . 03 - 3234 - 6855)

業績予想の修正に関するお知らせ(非連結)

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 3 月 14 日付で公表した平成 19 年 12 月期(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期通期業績予想数値の修正(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(単位:百万円,%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,435	181	103	6,736 円 66 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	1,311	16	6	410 円 52 銭
増 減 額 (B - A)	124	165	97	6,326 円 14 銭
増 減 率 (%)	8.6	91.2	94.2	93.9
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 12 月期)	1,203	155	78	6,379 円 71 銭

2. 通期業績予想修正の理由

当社は、通信事業者や事業会社に対し IP 電話システムを中心とした NGN 関連システム・ソフトウェア等の設計・開発から納入済み製品の保守・運用サポートまで提供するエンジニアリング会社です。NGN 関連市場では、NGN 商用サービスの本格的な導入に向けた、大手通信事業者によるインフラ設備の構築やトライアルサービス等が実施されており、同市場に対する設備投資は年々増加しております。しかしながら、現段階において NGN インフラとなる NTT の光回線網構築計画の見直しなど、計画全体に遅れが生じており、各社の投資動向についても同様に推移すると考えております。以上の結果を踏まえた上で、通期業績予想を修正しております。

売上高について

平成 19 年 12 月期通期業績につきましては、既に発表している通期業績予想よりも下回る見込みとなりました。

主な要因として、NGN ソリューション事業において、一部の通信事業者による NGN 関連の投資計画見直しのため当社販売計画が想定よりも下回る見込みであること、一部のプロジェクトの受注見込みが顧客の事情により来期以降となったことが挙げられます。

なお、NGN サービス事業では、前期までの自社製ソフトウェアライセンスの好調な受注実績を受けて、当初の計画通りに推移しております。

利益面について

平成 19 年 12 月期通期業績における利益面につきましては、予想より大きく下回る見込みとなりました。

主な要因としては、全体の売上が期首予想より伸び悩んだことに加え、顧客層拡大を目的とした新規受注案件に係る一時的な外注仕入や、新規事業立ち上げに伴う減価償却費の発生により、売上高に占める売上原価が増加しているためです。また、経常利益および当期純利益につきましては、営業活動に伴う費用等の販売費および一般管理費が想定よりも増加する見込みであること、本年度より製品保証引当金を計上していること、株式公開関連費用を営業外費用として計上していることなどが挙げられます。

事業区分別によると、NGN ソリューション事業では、当期受注案件において、利益率が高い通信事業者向けの自社ソフトウェアのライセンス製品販売が不振であったために、利益率が低下しております。

NGN サービス事業では、受注済み案件の保守サポートは堅調に推移し、利益率も改善しておりますが、顧客の拡大を目的とした SE/コンサルティングの新規受注案件において、コストとしてネットワーク構築費用などの外注仕入が一時的に発生し、NGN ソリューション事業と同様に利益率が低下しております。

以上の結果、平成 19 年 12 月期通期の売上高は当初予想の 8.6%減の 1,311 百万円、経常利益は当初予想の 91.2%減の 16 百万円、当期純利益は当初予想の 94.2%減の 6 百万円となる見込みです。

なお、当期における売上原価の増加は一時的なものと考えており、今後は自社ライセンスを中心としたソリューション提案と発行済みライセンスの増加による利益率の改善に注力いたします。また、新規事業であるセキュリティ事業および CSP 事業に対しては、積極的な投資ならびに新規顧客開拓を行い、来期以降の収益化に努めてまいります。

以 上